



Fukuoka Alumni Newsletter

事務局：〒939-0127 富山県高岡市福岡町上蓑561番地 福岡高等学校内
ホームページ URL <http://www.tym.ed.jp/sc362/ja/doso.html>



進路ガイダンスで在校生に話をする卒業生



みんなに愛される母校に

同窓会長 大野 洋靖

同窓会員の皆様には、本会の活動にご理解とご協力いただき深く感謝申し上げます。

昨年8月第31回の同窓会総会・懇親会が開催され、私たち1回生も同級生全員に参加を呼び掛ける対象となり、懐かしい同級生達と再会することができました。卒業から30年以上が過ぎ、風貌の変化にはさすがに驚きましたが、一度話し始めれば高校時代と変わらずテンポよく会話が進み、楽しいひと時を過ごすことができ、こうした機会を提供することが同窓会の役割の一つであると改めて感じました。

さて、懐かしい再会と言えばもう一つ。昨年4月の入学式で校長先生となって本校に戻ってこられた片山喜美先生と再会しました。開校から3年目、私が3年生の時に先生になったばかりの片山先生が本校に赴任され、バスケットボール部の顧問として、部員がようやく3学年そろった創部初期の活動を熱心に指導いただきました。開校間もない時に学校行事や部活動などに一緒に取り組んでいた先生が校長先生とられたことは本当に

心強いと思っています。

今回の会報では、福岡高校のリピーターを特集しましたが、福岡高校の校風や英語学研修を含む英語コースの特色だけでなく、学校創立期から先生方が熱心に指導いただき充実した学校生活となっているからこそ親子兄弟が通ってみたいと思うのではないのでしょうか。福岡高校に愛情を持っている先生や同窓生が多いことは、今後の本校発展の大きな要素であると思います。また、福岡高校では、地域に開かれた学校として幼稚園や福祉施設との交流、福岡駅周辺の清掃活動など様々な形で地域住民の皆さんとの交流も行われ、近年は地域との絆をさらに深めています。これまで福岡高校は地域の方々にも多くの支援をいただいています。私は、母校への支援だけでなく、地域からいただいた支援を色々な形で地域へ返すという思いにつながればいいと思っています。

昭和58年に開校した福岡高校が、同窓生はもちろん先生方や地域の皆さんにも愛され、今後さらに発展し続けるように、私たち同窓会も尽力してまいりたいと思います。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

第32回

同窓会総会 & 懇親会



平成28年8月15日(月)午後6時より、ホテルニューオータニ高岡において「第31回福岡高等学校同窓会総会」が開催されました。

当日は、1回生、11回生、21回生、26回生、31回生を中心に約240人の参加がありました。総会では大野同窓会長、片山校長の挨拶に続き、永年勤続表彰として、鮎井浩美先生が紹介されました。(当日欠席)

その後、平成27年度の会務、会計報告、28年度の役員、予算等の議事が審議され、全会一致で原案が承認されました。

総会后、午後6時30分から開催された懇親会では、在学時のビデオ映像も上映され、懐かしい話題に花が咲きました。



富山県立福岡高等学校 第31回同窓会懇親会



1回生集合写真

6年ぶりの同窓会は、お盆真っ只中の夜開催ということで、逆に参加者が少ないのでは・・・と心配していましたが、6年前にはまだメジャーではなかったLINEを駆使し、40名ほどの参加にこぎ着けました。今回の話題の中心は、①わが子の成長、②健康について、③第二の人生でした。①では、親子二代で福岡高校生になったとか、子供の就職先に同窓生がいたなど、②では、卒業して30年、老いも出てくるわね。病気自慢大会。③では、子育てが終わり、趣味に走る人続出。マラソンや登山、テニスなど健康寿命を延ばそうと運動系に走る人多し。時間と、金があるので、ある意味、高校生の時より熱い。来年の同窓会は、温泉一泊でよろしく～という声まで。10年後開催なら、今度は59歳。どうなってるかな?

1回生 長谷川 格

私たち11回生は4年前に1度、同窓会に参加させていただいていました。その際、多くの方に参加していただき嬉しかったのですが、今回再びという事で、比較的最近とは言え、更に日程が8月15日というお盆真っ只中で・・・。正直、どれほど集まってくれるのか不安を抱えながら35Hの幹事としてお誘いの連絡や出欠の確認などをしていました。その中で、「4年前の同窓会がきっかけで〇〇とまた連絡を取るようになったから、誘って一緒に行く」といったことも聞かれ、なんだか嬉しい気持ちになりました。

『同窓会』は、気持ちは高校生に戻りながらも、現在のみんなの姿に元気をもらうことができ、さらにそれがこの先の再びの結びつきにつながる、とてもいいものだと思えました!

11回生 朝日 理恵

富山県立福岡高等学校 第31回同窓会懇親会



11回生集合写真

卒業してからあっという間に10年が経ち、久しぶりに会う友達に緊張しましたが、話し始めるとまるであの頃へ戻ったように騒ぐ私たち。少し老けた顔は気になるけど、「今日は高校生」となって当時の話や近況を話し、盛り上がりました。

お世話になった先生の変わらぬ姿、「まだまだやのう」と励まされる一方、少し大人になった私たちも見てもらえた気がします。懐かしくとても居心地が良かったです。

楽しかった時間はあっという間に過ぎてしまいました。とても貴重で充実したひとときとなったように思います。旧友に会い、気持ちのリセットされ、また明日から頑張れる、そんなパワーをもらえました。「また集まろう」と再会を約束し、またいつもの日常を送っている私たちですが、心のつながりを再確認できた同窓会でした。協力下さった皆様には心より感謝申し上げます。 **21回生 覚張 千夏**



21回生集合写真

卒業してから2回目の同窓会では社会人になった人も多くおり、学生時代よりも大人になった印象を受けました。しかし、話してみると昔と同じようなくだらない話題で盛り上がり、その辺りは安心できました(笑)。社会人としてまだまだ駆け出しの私たちには、これからもっと楽しいことも苦しいことも降りかかってくると思います。同窓会があったときにこれからの経験を語り合うことで心を落ち着かせたり、「コイツもがんばってるから負けてられないな」と自分を鼓舞できたりします。また会ったときに成長した姿を互いに見せ合え、心を支え合える、そんな26回生でありたいと思います。次回の同窓会を楽しみにしています!

26回生 平田 拓也



26回生集合写真



3年間にわたる高校生活を終え、各地に散開してからたったの5ヶ月。再び集まった時には殆どの人に何かしらの変化があったことを感じました。それは良くも悪くも皆が新天地で闘い抜く為の方向性を形作っていくモノなのだろうと思います。

新鮮な話が飛び交う中、既に高校生活での思い出を懐かしんで盛り上がっているグループもありました。私もその中の一人です。ごく短い空白が出来ただけで、ノスタルジーに浸れるぐらいに高校時代は楽しかったという感情も溢れていた気がします。

5年後、同窓会で再集結した時には恩師と何を話し合い、同期と何を語り合うのか... 私は楽しみで仕方ありません。

31回生 渡部 貴晶



31回生集合写真



再び福岡高校に

校長 片山 喜美

昭和60年、福岡高校が創立三年目を迎え、ようやく1年生から3年生までが揃った年に、私は新採教員として福岡高校に赴任しました。校歌に「新たに進む者の清新な気迫を胸に」という一節がありますが、その当時、生徒にも教職員にも、そんな気持ちが満ち溢れていたように思います。先生方は苦勞も厭わず、生徒とともに新しい学校を作り上げていっていらっしゃいました。

若かった私は、失敗が多く、めげそうでしたが、先輩の先生方に励ましてもらったり、熱い思いを聞かせていただいたりして、教員としての仕事を少しずつできるようにしていただきました。生徒の皆さんとともに活動をして、うまくいってうれしかったことや、叱って反発を受け、困ったことなど、いろいろありました。そんな当時を懐かしく思い出します。初任から7年間福岡高校で勤め、二度目の卒業担任を終えた後に転勤となりました。

そして、この4月から、再び福岡高等学校で勤務できることになり、それはうれしいことでした。久しぶりに見る校舎は、少し古びており、年月の経過を感じさせます。当時は無かった朋友館が建っているなど、変化もあります。創立数年後に立ち上げられた「英語学研修」は、今年度は31回目の実施で、もはや伝統になりつつあります。

大野同窓会長や何人かの役員の人たちとは、昔、生徒と新米教師だった頃のことを思い出して、懐かしく懇談しました。保護者の中にも卒業生がいて、声をかけてくれます。また、三十年以上前にALTだった英国人のアッシュウェルさんが、現在、東京で大学教授になっていることが偶然判明し、本校で講演してもらいました。懐かしい再会でした。

私の教員としての原点である福岡高校が「英語コースを核とした進学校」「地域に信頼される学校」として、さらに充実・発展するよう努めていますので、同窓会の皆様には今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願ひします。



福岡高等学校 同窓会役員名簿

役職	氏名	回	組
会長	大野 洋靖	1	5
副会長	立川 証	1	4
副会長	伊藤 雄一郎	2	2
副会長	板谷 直子	4	2
監査	米沢 尚美	2	4
監査	牧野 友紀	3	3
監査	赤尾 繁樹	8	3
常任幹事	長谷川 格	1	5
常任幹事	宮田 俊孝	2	1
常任幹事	徳田 新一	3	1
常任幹事	浅地 隆佳	4	6
常任幹事	中村 裕二	5	1
常任幹事	塚原 映生	6	3
常任幹事	川島 国	7	1
常任幹事	松本 信幸	8	3
常任幹事	寺前 慎太郎	9	3
常任幹事	嶋田 志保	10	2
常任幹事	藤村 充邦	11	5
常任幹事	今井 泰則	12	6
常任幹事	山川 雄亮	13	5
常任幹事	高田 洋平	14	1
常任幹事	角 千絵美	15	2
常任幹事	鎌倉 真希子	16	3
常任幹事	下村 肇	17	5
常任幹事	二塚 大地	18	2
常任幹事	土肥 浩樹	19	1
常任幹事	小川 亜沙美	20	4
常任幹事	覚張 千夏	21	5
常任幹事	山田 雄介	22	5
常任幹事	鈴木 垂衣	23	2
常任幹事	船木 悠平	24	3
常任幹事	浜井 欣宏	25	3
常任幹事	平田 拓也	26	3
常任幹事	高田 樹	27	1
常任幹事	吉國 叡	28	3
常任幹事	宮原 伸卓	29	2
常任幹事	中村 夕香	30	3
常任幹事	渡部 貴晶	31	3



福岡高校って いい学校だよね 編

しっとるけ 福岡高校

Tさん:福岡高校っていい学校だよねー

Yくん:たしかに同窓生はそう思ってるだろうけど、比べたわけじゃないからね

T:でも福岡高校には3年以上長く付き合う人が多いんだってさ

Y:ちゃんと卒業しなきゃダメでしょ

T:そうじゃなくて、兄弟や子どもが福岡高校に入る率が高いんだって

Y:なるほど。やっぱり勤めたくなるのかなあ

T:昨年10月に1・2年生を対象にアンケートしたら…

福岡高校出身の親がいる → 9.7%

福岡高校出身(在席も含む)の兄弟がいる → 11.4%

っていう結果だったって

Y:高岡と隣接地区の学校数を考えると、確かに濃い感じするね

T:他にも卒業生が教員として赴任したり、戻ってくる先生も多いんだって

〈教員リピーター〉

片山喜美先生 数学

昭和60～平成3 → 平成28(校長)

利田(島)右子 英語

昭和58～平成5 → 平成23～現在(教頭)

小島定俊先生 英語

昭和58～昭和61 → 平成7～平成9(教頭)

〈教員親子リピーター〉

中村善之助先生 理科

昭和63～平成2(校長)

中村達麻呂先生 理科

平成27年～現在(副校長)

〈卒業生教員リピーター〉

4回生 出口奈津子先生(英語)

26回生 山本桃子先生(英語)

27回生 高田 樹先生(保健体育)

T:安心して通える学校なんだろうね

Y:それって、やっぱりいい学校なんだわあ

T:だよー



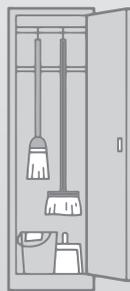
福岡高校卒業の
お父さんをもつ本校生徒
21H 張田 恵世さん

私の通う福岡高校を卒業した父と過ごして
いて感じていることは情報量の多さです。
高校進学で学校を決める際、多くの人は行
きたい高校のオープンハイスクールに参加
してそのときの印象や配付された資料を参
考にするとと思いますが、私は父から資料で
は知ることのできない良いところやそう
でないところまで聞くことができ、たいへん
助かりました。また、約30年の開きがある
とはいえ、同じ福岡高校なので、入学後には
父と踏み込んだ会話ができます。特に入学
直後の慣れない生活の中では、心配事や悩
みを聞いてもらえる福岡高校のことをよく
知っている人がいることで、安心して学校生
活を送ることができました。



山本桃子先生

初任校が、母校である福岡高校だと知っ
た時は、とても驚きました。高校時代に、本校
の英語コースで「英語漬けの日々」を過ごし
たことは、自分の人生の分岐点です。英語の
教員として、福岡高校で勤務するのは、嬉し
さ半分、不安半分のスタートでしたが、授業
が始まり、一生懸命に学習に取り組む生徒を
前にして、この学校が初任校で本当に良かっ
たと感じました。今では、自分が生徒だったと
きの気持ちや、高校時代の思い出を思い出
しながら、学校での日々を過ごしています。
自分が本校のOGであることを活かして、生
徒が、「福岡高校を卒業できて良かった!」と
心から思えるような学校であり続けるように、
全力で頑張っていきたいと思います。



中村副校長先生

保護者または兄弟が福岡高校卒業生でその影響を受けて福岡高校に入学
した生徒が多いと聞いている。このような人をリピーターとよぶならば、私もあ
る意味、リピーターである。というのも、私の父が福岡高校第3代校長 中村善
之助だからである。(ちなみに姪も福岡高校21回生である。)父から福岡高校
の様子を聞くことはほとんどなかったが、その縁で、父と一緒に福岡高校で勤
務しておられた片山校長先生をはじめ利田教頭先生、橋本芳夫先生、高田幹
夫先生、中坪和久先生他、多くの先生方と知り合うことができ、教師として成
長させてもらったと思っている。言い換えれば、父のおかげで私自身が福岡高
校に育ててもらったと言えるのかもしれない。

学校の近況 平成28年度 部活動成績

- 陸上競技部**
- 第69回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会
 - 女子やり投げ(35m35) 第4位(北信越大会出場) 山口 佳南(31H)
 - 女子走高跳(1m48) 第3位(北信越大会出場) 飛田 路奈(23H)
 - 女子100mH(15秒96) 第4位(北信越大会出場) 熊野 亜海(13H)
 - 女子七種競技(3299点) 第6位(北信越大会出場) 熊野 亜海(13H)
 - 女子棒高跳(オープン)(2m20) 第5位 宮澤 朱希(21H)
 - 第58回富山県陸上競技選手権大会
 - 女子走高跳(1m56) 第1位 熊野 亜海(13H)
 - 第69回県民体育大会
 - 少年女子B 100mYH(15秒51) 第2位 熊野 亜海(13H)
 - 第53回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
 - 女子100mH(15秒38) 第1位(北信越大会出場) 熊野 亜海(13H)
 - 女子走高跳(1m51) 第2位(北信越大会出場) 熊野 亜海(13H)
 - 女子棒高跳(2m30) 第3位(北信越大会出場) 宮澤 朱希(21H)
 - 女子走高跳(1m35) 第3位(北信越大会出場) 飛田 路奈(23H)
 - 男子ハンマー投(33m61) 第5位(北信越大会出場) 杉野 雅大(23H)

- 吹奏楽部** ■第44回富山県吹奏楽コンクール 高等学校B部門 金賞
- ESS部** ■第6回富山県高校生英語ディベート大会 第2位 富山県立福岡高等学校チーム
- 美術部** ■福岡町つくりもんまつり 参勝(実行委員長賞・北日本新聞社賞) 作品名「未来へつなごう!日本遺産」
- 華道部** ■Ikenobo花の甲子園 2016 北信越地区【西】大会 パフォーマンス賞
- 山岳部** ■第37回北信越国民体育大会 山岳競技
 - 少年女子 総合1位 富山県(国民体育大会出場)
 - 少年女子 リード競技 第1位 富山県
 - 少年女子 ボルダリング競技 第1位 富山県
 吉岡 優季(11H)
- 第7回全国高等学校選抜クライミング選手権大会出場 吉岡 優季(11H)
- その他** ■第12回関数グラフアート全国コンテスト 優秀賞 林 優花(23H) 山崎 怜菜(23H)
- 第18回富山県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト レシテーション部門 第2位 藤田沙瑛子(11H)
- 第20回ボランティア・スピリット賞 コミュニティ賞 野村 陽香(31H)
- 第17回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール 優良賞 折田 絢音(21H)

第32回同窓会総会告知

毎年恒例になりました「ホテルニューオータニ高岡」での同窓会総会&懇親会も今年で7回目。去年も大変盛り上がりました。もちろん今年も開催いたします。今年のメインの回生は、2回生、12回生、22回生、27回生、32回生です。もちろん「その他回生の方」の参加も大歓迎!!!

日時 平成29年 8月13日(日) 18:00~20:30(受付17:30~)

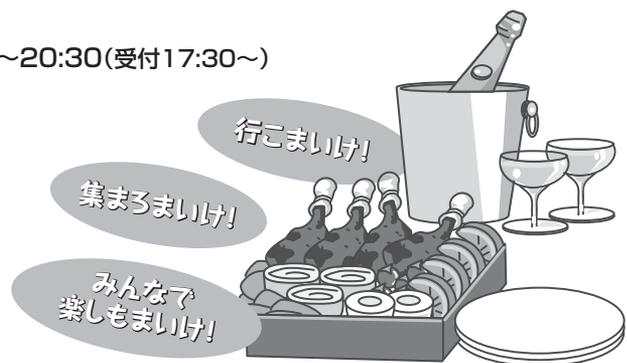
同窓会総会 18:00~18:30
懇親会 18:30~20:30

会場 ホテルニューオータニ高岡

同窓会総会 瑞竜の間(4階中宴会場)
懇親会 鳳凰の間(4階大宴会場)

会費 5,000円 (32回生は3,000円)

たくさんの方のご参加、ご来場をお待ちしております。



編集後記

私の今年度の一番の話題は、18歳選挙権施行でした。いろいろな思いはありますが、高校生も大人と見られる時代が来るのでしょうか。ゆる~かったあの時代が懐かしいなー。

事務局だよ!

- ◇各学年の同窓会、部のOB・OG会の開催記事を募集しています。
- ◇福岡高等学校のホームページを開設しています。ご利用ください。なお、同窓会ページは多くの意見をどんどん取り入れて、内容を充実させたいと考えています。
- ◇会報をホームページにも掲載しています。 <http://www.tym.ed.jp/sc362/ja/doso.html>

注意 同窓会事務局と名乗り、住所、進路等の問い合わせをする業者があります。ご不審な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

福岡高等学校内 同窓会事務局 電話(0766)64-5275 FAX(0766)64-5276

E-mail dousou@fukuoka-h.tym.ed.jp

富山県立福岡高校同窓会
フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/pages/富山県立福岡高校同窓会/111504212307371>

facebook

